令和 年 月 日	通告順序
午前・後 時 分 受領	

令和4年3月8日

会津美里町議会議長 横山 知世志 様

会津美里町議会議員 10 番 星 次 ⑩

一 般 質 問 通 告 書 (再質問)

令和4年定例会3月会議において、次のことについて質問したいので、会議規則第61条第2項の規定により通告します。

- (注) 1. 質問の要旨は、具体的に記載すること。
2. 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1、令和4年度町長の施政方針について	再質問をします。 町長は福島県議会議員として長年政治活動をされてきました。その活動の中で幅広い人脈と豊富な経験を培ってきました。その利点を活かしたまちづくりを町民は杉山町長に期待しているところですが、施政方針やまちづくり実施計画を見ましても、前、渡部町長が行ってきた事業を継続しているだけです。杉山町長のカラーが見えてきません。新規事業はデジタル化推進1件と森林環境対策室の設置と教育の環境整備3点です。もっと県議時代に培った経験を活かした事業展開が出来なかったのか伺う。又、町長は職員に対して「前	町 長

町 長

例や慣習にとらわれることなく、好いと思うことは率先して、失敗を恐れず果敢に前向きに挑戦してほしい。」と職員に訓示していると聞いたが、どの機会を捉えているのか、職員には充分理解度が図られたと感じているのか伺う。

町長は就任以来町内を空から確認した所耕作放棄地と空き家が多いのには、びっくりしたとお話していますが、特に多いのが両尾岐地区に見られるとも言われています。

このことは、田んぼの基盤整備がなされていないことです。整備するにも条件が悪い事を理由に、町は行政指導をしてこなかったことです。未整備なので田んぼの進入路もなく、排水するにも手間がかかり維持管理が容易ではありません。そこに拍車をかけ、耕作者が高齢化したことです。今後耕作放棄地の解消を図るための方策は考えているのか伺う。

過去に、集落支援員を東尾岐地区に配置して、課題解決を行ったと思うが、どのように評価し、結果はどうであったのか、伺う。

施政方針の中の観光の振興について再質問をします。体験型ツアーの開発し、メニューを充実するとあるがこれまでも多額の予算を使って実施してきましたが、これまでの実績を踏まえ、今年度どこをどのようにしていくのか伺う。又、イベントの見直しを図り経済効果があるようにすると考えているようですが、どのイベントをどのようにするのかと今までの検証と課題はどのように捉えているのか、今後の方向性を伺う。

観光大使の任命等について具体的な考えがあると思われませんが、どのような方を何人位委嘱するのか、見解を伺う。

また、向羽黒山城跡の案内看板等のサイン整備も今年度実施するようですが、何箇所をどこに設置するのか。春の行楽シーズンまで

教育長

	<p>に間に合うのか併せて伺う。</p> <p>向羽黒山城跡整備資料室の運営についても、内容の充実や入れ替えをもっとすれば山城の理解度を深めることが出来、再度友人等連れでの来町も期待できると考えるが見解を伺う。令和9年度の解体を考えているようだが、新整備資料室は本郷らしい焼き物の展示も含めた資料館を作るべきと考えるが再度見解を伺う。</p>	
<p>JR 只見線の利活用計画について</p>	<p>大沼高校との連携した活動は良いと考えます。4月1日から坂下高校と統合して、会津西陵高校として新たに開校します。町外からは相当の高校生が高田駅を利用します。高校生とコラボした「情報発信と産品開発・販売による町中散策の誘客」は大変良いことであると思うので、是非とも実現に向けて期待するところではありますが、今年の秋の開通までは間に合わせるのか伺う。</p> <p>まちづくり団体活動補助金を交付している団体は何団体いて、主にどんな活動をしているのか伺う。活性化や誘客に繋げられる団体であると考えているのか伺う。</p>	<p>町 長</p>
<p>農業体験学習農場の利活用について</p>	<p>概ね了解はしましたが、この地は福島県の果樹試験場会津試験地として、長年本町も含め近隣市町村の果樹栽培の振興に寄与してきたので、その意味からも、民間譲渡する場合には目的を知らしめて、他の用途ではなく親子の農業体験や観光農園としての活用をすべきであると考えます。この場所は景観が非常に素晴らしく、見晴らしも良いので移住者の宿泊を兼ねた体験学習館として利用も考えられると思うが、見解を伺います。</p>	